

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（568）

2. 日 時：令和5年9月20日 13時30分～15時15分

3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官、宮本上席安全審査官※、  
秋本主任安全審査官※、熊谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、  
谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他9名

原子力事業統括部 原子力安全推進グループ（主幹）※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性評価方針について（構造成立性評価の基本方針のうち解析条件の変更点他）
- （2）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （3）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁藤原です。それは時間になりましたので、泊発電所 3号炉の膨張て構造成立性評価方針について、ニイツのヒアリングを始めたいと思います。
0:00:12	じゃ、事業者の方から説明をしてください。
0:00:15	はい北海道電力の高橋です。本日は防潮ての構造成立性評価方針のうち、解析条件の併行変更点についてご説明させていただきたいと思います。
0:00:28	今までヒアリング等で事実確認をいただいて、それらの指摘事項等を、コメント等を踏まえて、修正をさせていただいております。
0:00:39	特に今回は包丁ての設置高さを、基準津波の検討状況を踏まえて、変更する点。
0:00:49	それから評価断面の選定プロをについて、これらに絞ってご説明していきたいと思ってございますのでよろしくをお願いします。
0:01:00	それでは松元の方からご説明させていただきます。
0:01:04	北海道電力の松本が説明させていただきます。まず 2 ページをお願いいたします。2 ページ目次の構成を今ご説明させていただいた通り、1 ポツ、
0:01:17	構造成立性評価方針の変更点ウタポツ、構造成立性評価断面の集約ということでこの 2 点で構成させていただいております。
0:01:24	3 ページをお願いいたします。3 ページにつきましては本日の説明趣旨を記載しておりますが、記載の通りですので割愛させていただきまして、14 ページをお願いいたします。
0:01:37	4 ページのスケジュールにおきまして前回資料からの更新点ですけども、10 番目の他条文への影響ということで、これまで包丁て海側センケンに関する個別条文の基準適合への影響については説明済みというふうな
0:01:54	スタンスでしたけども、新たに高さ変更に関する個別条文の基準適合への影響が説明等へ説明が必要ということから、入力津波確定後という審査時期を追記しております。
0:02:08	続いて 5 ページをお願いいたします。
0:02:12	5 ページにつきましては、前回膨張ての高さ 19 メーターに至った考えを、表等を用いて具体的に説明をさせていただいておりますがそれを削除しまして藤丸野。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	黄色枠の丸の二つの文章でご説明させていただいております。
0:02:28	その下マルの二つにつきましても黄色ハッチングにはなっておりますが前回資料と同じ記載ですので設置詳細は割愛させていただきます。
0:02:37	この資料ページにおきまして下の※4のところ、
0:02:42	こちらは高強度部に関する補足になりますけども、高強度部の設定高さの考え方及び設計の妥当性に関する見通しは設置変更許可段階において説明させていただくと。
0:02:53	いうところと、※5の、止水目地構造の根入れの考え方は設置変更許可段階で説明させていただくという旨をこちらで書かせていただいております。
0:03:05	続いて6ページをお願いいたします。
0:03:11	6ページにおきましては、止水目地の構造の変更ということで下の表で変更前変更後の説明をさせていただいております。
0:03:21	上の黄色枠の絵の丸の三つ目ですが、構造変更後の詳細構造概要設計方針はアンカーボルトの性能試験結果及び解析結果につきましては、今後設置変更許可段階で説明させていただきます。
0:03:37	また、ゴムジョイントの評価につきましては、この設計及び工事計画認可段階で説明させていただくといったところを記載させていただいております。
0:03:46	続いて7ページをお願いいたします。
0:03:50	7ページでは構造成立性評価断面の集約となりますが、前回、前回の資料におきましては、第1111回審査会合のフローに、ちょっととらわれていたところもありましたので今回改めてフローを見直しております。
0:04:06	下のフローで説明させていただきますが、基本的なフローの流れは変わりませんが今回追加というところの赤枠のところ、構造成立性評価断面を集約といったところを今回フローに追記しております。
0:04:20	集約をした後に断面が決定するといった流れをこのフローで表現しております。
0:04:27	また、フロー中の、あ、すいませんえと上の黄色。
0:04:32	枠のところに戻っていただきまして、丸の二つ目、重畳時における断面選定におきましては、地震時及び津波時の両事象の選定フローを考慮すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:43	いったところと、丸の三つ目津波時における漂流物荷重は、断面位置にかかわらず同じ荷重であるため断面選定する際の観点としない。
0:04:52	観点として考慮しないといったところを追記させていただいております。
0:04:57	あとフロー中に、実津波時における断面選定のフローの中で津波荷重の大きさの整理というところで、注意書きを補足しております。
0:05:08	構造成立性評価においては保守的に設定した津波高さとし、防潮て前面の敷地高さとの、その2分の1を津波浸水深として浅倉式より算定した津波波力を津波荷重として作用させると。
0:05:22	この考え方につきましては今後、第五条耐津波設計方針において説明させていただきます。
0:05:29	続いて、8ページをお願いいたします。
0:05:33	8ページは、前回審査会合の再掲となっておりますが、こちらは断面小、当評価断品の候補の整理の観点を、
0:05:43	説明するページを再掲しております。
0:05:47	すいませんこの資料の中で再掲の中なんですけど、一部置換コンクリートといったところが残っておりますので、こちらは下部コンクリートに
0:05:58	修正させていただきます。以降再掲一部加筆修正のページにおきまして同様の記載がありますのでそちらも合わせて修正させていただきます。
0:06:09	続いて9ページをお願いいたします。
0:06:14	9ページにおきましては、8ページの観点で候補断面を抽出した結果を示しております。
0:06:22	こちらも観点は、前回の審査が以降から変わっておりませんで抽出候補断面も変わっておりません。
0:06:30	10ページをお願いいたします。
0:06:35	10ページにおきましては、評価断面の選定結果ということで、具体的に候補着目する観点到、着目して数値等を整理したのになります。
0:06:46	この表の中で赤囲みをしているところ、こちらが候補断面の中で厳しい条件を示しております、構造的特徴の観点でいくと、膨張て天端から岩盤まで高さが最も高いのが、2-2断面、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:01	また、防潮で前面に作用する津波荷重が最も大きいのが、2-2断面となっております。
0:07:08	周辺状況の中で膨張で背面に作用する度圧、こちらが最も大きいのが、ロクロク断面となっております、この
0:07:18	2断面を、構造成立性評価断面として選定をしております。
0:07:25	続いて11ページをお願いいたします。
0:07:30	11ページにおきまして丸の一つ目で今回下記の観点に着目し評価条件を保守的に設定することで、2断面を1断面に集約することを検討したという流れとなっております。
0:07:42	丸の二つ目で、歩評価条件を保守的に設定することで、2-2断面に集約して実施するといったところを記載しております。
0:07:54	本編の資料の説明は以上になりまして12ページをお願いいたします。
0:07:59	12ページにおきましては、構造成立性評価において、防潮で高さの変更により影響があると考えられる項目及び対策についてこういった対策がありますといったところを、参考までに提示をしているものです。
0:08:14	続いて13ページ14ページにおきましては、構造成立性評価断面の候補の地質断面図を示しております。
0:08:24	全9ページにおいて断面図がありませんので断面図がわかるように参考資料として各断面図の各断面位置の地質断面図を添付しております。
0:08:36	ただこちらの断面図につきましては現在16.5メートルの防潮低高さ野積図となっておりますのでこちらは19メートルに修正して、
0:08:47	修正させていただきます。
0:08:50	以上が資料の説明となります。
0:08:54	規制庁藤原ですそれでは質疑に入りたいと思います。藤と稗田今回の質疑については、このちょっとペイジー、ある一定のページごとでちょっとくくらせていただきます。
0:09:07	ではパワーポイントの5ページまでの間、メインは5ページだと思うんですけど、これに関して、確認をしたいと思います。
0:09:24	以上オオハシです。
0:09:26	5ページなんですけど、
0:09:28	三つ目のルーの書き方が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:31	基本構造括弧セメント改良度及びコンクリートまたはコンクリートによる堤体構造って、
0:09:39	このコンクリートってどこを指してるのがはっきりよくわかんなくって、
0:09:44	下に、
0:09:45	図面があるので、その図面に対応したような形で、ここは書いてくれた方がわかりやすいかと思います。
0:09:54	館さんの図面はセメント改良度っていうのはあるんですけど、
0:09:57	あとは下部コンクリートしかないし、
0:10:00	また単独のコンクリートっていうのが、
0:10:02	ただこれ読んじゃうと、セメント改良の話で、
0:10:06	すべてコンクリートで停滞。
0:10:09	を作るのかとかですね。
0:10:12	ちょっと、
0:10:13	わかりにくいので、
0:10:15	下の図面に合わせたような形で、
0:10:19	ちょっと説明してはどうでしょうかということで、
0:10:27	北海道電力の松元です。丸の三つ目につきましては、に合わせた説明となるように修文させていただきたいと思います。
0:10:36	またコンクリートによる堤体構造と書かせていただいていますのは、傍聴で9ページで、9ページをお願いいたします。
0:10:47	9ページの88断面という右端、右上のところに
0:10:53	断面、
0:10:56	位置図を示しておりますけどもこの8断面のところにつきましては、セメント改良度ではなく、下から上までコンクリートの構造になりますので、こちらを指した説明となっております。
0:11:08	なので図面の説明となるように5ページにつきましては修正させていただきたいと思います。
0:11:15	長オオハシです。
0:11:17	お願いします。
0:11:20	等ですねもう一つは、同じページの四つ目の丸の、
0:11:25	矢羽根の一つ目で、
0:11:28	これちょっと読み方の話ぐらいなんですけど、入力津波が確定前であることから、
0:11:35	保守的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:37	防潮て天端高さとしておりっていうことを、
0:11:41	書くとですね。
0:11:42	何か入力津波が確定されると。
0:11:45	防潮ての天端高さが、
0:11:48	もしかすると変わってしまうっていうことを、
0:11:51	言ってるようにも読めちゃうので、
0:11:54	これどこかで、
0:11:56	入力津波の暫定的な値って、
0:11:59	もうすでに数 g で出した上、一番上に書いてますよね 15 点。
0:12:03	68 メーターって、
0:12:05	もうすでに暫定的な数字出しちゃってるんで、
0:12:09	15.68 に対して、
0:12:11	19 メーターの
0:12:13	膨張て天板にご指摘したとか、そっちの方から、
0:12:17	ちょっとわかりやすいかなとは思いますが、どうでしょう。
0:14:21	街道電力の松本です。今のご指摘を踏まえまして、5 ページの都丸の四つ目の矢羽根の一つ目二つ目に、入力津波が確定前であることからという記載がありますけどもこちらの記載を削除。
0:14:35	して、記載を見直したいと思います。
0:16:07	ご指摘、
0:16:20	北海道電力の辰田ですちょっと今、事業者の中でさ、そういう打ち合わせをしてございましたけども、回答させていただきます。今の回答に加えてですね、5 ページ目の矢羽根三つあるうちの矢羽根の一つ目の、
0:16:34	後半の方に、非保守的になって言葉もありましたありますけども、こちらを保守的にとというよりは、設置許可段階の条件として、
0:16:45	防潮底の高さを 19 メートルとするという記載の方に変更させていただいて、ちょっと下の方にも保守的にとという言葉がございましたので、同じく二つ目の矢羽根の方もですね入力津波の確定前であることからという言葉と、
0:17:00	保守的にとという言葉を使わないように変更修正をさせていただこうと思います。以上です。
0:17:22	すいませんナカムラです。5 ページ目の四つ目のルー。
0:17:27	で、
0:17:28	目四つ目の丸の二つ目の矢羽根で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:35	方、
0:17:37	橋梁部過剰の作業位置は、設置許可変更段階の条件として、
0:17:43	塀、
0:17:45	現場に採用するってということで、変更に伴い、19メーターにするって書いてあるんですけど、これいつごろ回答するかっていうことをですね。
0:17:53	例えば、4ページに書いてある、
0:17:57	4ページのオダに何名見て
0:18:01	回答時期は、4ページに
0:18:04	入力津波設定後とか、
0:18:06	いわゆる、
0:18:07	いわゆる設置許可段階の条件としてやるわけで設置許可段階のいつごろ回答するかっていうのがわかるようにしてもらえるわかるように、4ページを引き出すとか何かしてもらえればと思いますが、いかがでしょうか。
0:18:48	照井今藤原瑠羽から少しフォローがあったように、いつ回答するんですかって設置許可でやるって言うてるんだから、上の一つそれはいつ回答してくれるのいつごろ回答するのってわかるようにすればと。
0:19:02	その答えが4ページで大体未踏回答時期っていうか、見通しがついてるからそれを引き出す位。
0:19:09	で、回答時期いわゆる、
0:19:12	いつ頃を該当するかわかるようにすればという、アドバイスだけなんですけど、
0:19:44	あと北海道電力の松本です今のコメントで1点確認させていただきたいんですが、説明する時期を変え、
0:19:52	わかるようにというご指摘でしたけども、その説明内容というものは、この漂流物荷重の作用位置が天端で適当なのか、適切なのかっていう、
0:20:03	ことなのか、もしくは、天端に作用させたときにでも、膨張が成立することを示すのどちらを指しているのでしょうか、教えてください。
0:20:19	事業者としてはどうしたいんですか、これを説明するっていうことに対して、
0:20:27	いわゆる公共とコンクリート部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:30	宇和の設計はいつごろ終わる予定ですかっていうことを答えてへんのか、多田高さんいいのか答えたいのか。
0:20:38	どっちを説明したいんですか、我々としては。
0:20:41	すべてがわかる段階いわゆる、
0:20:44	へえ。
0:20:45	中立化に対する対策工として、
0:20:49	基本的な設計方針がわかる時期。
0:20:53	というのは知りたいと思うんですけど。
0:20:56	何かパーツパーツで説明されても、全体がわからないんじゃないですか。
0:23:26	クリア。
0:23:30	北海道電力のマツモトでセト今アノ※4のところ、高強度部の考え方は、設置変更許可段階において説明するというような記載になってますけども、ここをもっと具体的に気いつ説明できるのかっていうところ。
0:23:45	修正させていただくのとその時に何を、
0:23:49	説明するのか、例えば矢羽根の二つ目では、天端に作用させる方針というところだけを記載してますけども、実際には表土分を高さ等、
0:24:02	当たっても大丈夫なところがどこまでかといったところの確認もしますのでそういったことがわかるように、資料、一部記載を修正したいと思います。
0:24:13	規制庁の江崎です。基本的にですね高強度部といわゆる津波漂流物、
0:24:21	衝突防止工みたいな意味ですよ。
0:24:24	で、
0:24:25	他サイトの、
0:24:26	での審査の
0:24:29	議論って聞いてます。
0:24:31	後てます。
0:24:33	いわゆるこれさ、
0:24:35	谷野さん、ゴトウの船だけがぶつかるとは限らないんです。
0:24:39	当院では石倉ぶつかってもソネ、クボかなりゴムのマークが全面的に出てくるところもあったので、それで破れないかどうかっていう、瓦れきでだ瓦れきがぶつからないのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:51	またはその木材とか物ぶつからないのかとか投入の話ありましたけど、
0:24:56	すべての事象に対してどう考えてるかっていう、端的に言い、
0:25:01	小型船舶だけがぶつかるということ、だけは考えないでお願いしてくださいねという、結局そこでひっくり返されますからって話。
0:25:10	そこだけ。
0:25:11	簡単に物事考えですね、確保のこと考えてください。
0:25:15	ていうだけ申し伝えておきます。
0:25:18	これはコメントではないです。他サイトの実績上十分見た上で、
0:25:23	何が必要なのかという、もともとこれをつけるものとして付ける、その設備をつけることという、その要求性能は何なのか、それを下から見とった上でですね、どこまでやれば済むものなのか。それで、
0:25:37	自分方自分たちが考えた対象以外のものも網羅的に考えたときに、
0:25:42	衝突するものが、がですよ。そうしたものは、どういったことで設計にのってくるのか、設計が可能なのかというですね、そこも含めて考えておいてください。以上です。
0:26:14	はい。
0:26:18	こういう
0:26:19	荷重を考えて、
0:26:22	計上はね、こういうふうに、
0:26:24	お考え、方針。
0:26:30	はい。
0:26:32	今江崎がフォローしてもらったように、高さを決めるだけでなく漂流物の対策について、
0:26:40	どういう荷重でどういう形上、いわゆる高さや幅。
0:26:47	そういうのを考えて基本的な考え方。
0:26:51	設工認にはこういうことを踏まえて、
0:26:54	設置許可はこういう基本方針でやりますというのわかる時点を教えてくださいという趣旨。
0:27:01	です。
0:27:02	なんか高さだけ決めればおしまいっていうふうに聞こえたので、改めてそこら辺は、しっかり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:08	考えた上で、回答の方、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。
0:27:14	はい。北海道電力の高橋です。衛藤先ほど弊社の方からご説明した時には高強度部の高さの設定とか考え方みたいなところの日付ということで回答させていただきましたけれども、
0:27:31	今江崎さんからいただいた通り、瓦れきだとか木材だとか、今、我々小型船舶で4.9トンのっていうことで説明してますけれども、
0:27:41	秤量分Ⅱの方についても、まだ耐津波設計としてご説明しなきゃいけないというふうに思ってますので、その断面で、どういうふうに、
0:27:51	どういうものを考えて、今、暫定で設定してる2000kNを、が、いいのかなののかっていう議論になると思ひますので、そういったことを説明できる時期って言ったようなところを、
0:28:03	リンクさせるようにしていきたいと思ひます。
0:28:07	規制庁の江崎です。
0:28:09	それ今追加してどこのサイトでもやってる話なんですが、
0:28:13	いわゆる先行サイトの実績では、前面の運動場の
0:28:18	沈下、液状化沈下、
0:28:20	流動化、またはそのあとに来る津波によるセンクツを踏まえて、どこまで補強するかということも考えなきゃいけないんだと思ひます。
0:28:30	うん。それは施設の形状やあれによって変わってきますんで、
0:28:34	その周りの環境も含めてですね、何がどこまで必要なのかってことを考えていかなきゃいけない。
0:28:40	ということになります。だから、
0:28:42	私が言いたいのは、いわゆる入力津波が設定が終わらないと、そんな話ってできないんですよ。
0:28:50	ある意味、
0:28:51	漂流物衝突荷重っていうことで漂流物が7岩瀬やってないよね、天田から漂流物そのもののいわゆる流向流速ベクトルが、
0:29:02	られていないので、いわゆる漂流物の選定ができていない。
0:29:07	ということになります。
0:29:08	それとともに
0:29:10	当然その中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:13	大城が基本的なアオキの受動動圧を期待しないという自動抵抗を期待しないということですとプラット。
0:29:22	ここで設計するってことにはなっていますけども、
0:29:25	そういった場合どう考えるのか。
0:29:27	いやそれなぜ考えるそういうふうな状態を考えるかという、液状化起きた後の流動化です。どうしてはどのぐらいの状態になっているのか。
0:29:34	施設効果がどこへ、崩壊ビジョンに至っているのか、それがまあさ、はっきりとはわからないからですよ。
0:29:42	そのためにセンクツなんて動き取った場合には、どれだけ線化するかもまだ、
0:29:47	多分計算上は載らない。
0:29:50	ですよ。多分設計としては、このぐらい専決されても大丈夫と、普通はここまで先駆され、されないよねってところで考えた上でやるしか、今のところ、
0:30:00	先行サイトの実績ではなさそうなので、そういったことも踏まえたときに、じゃあどこまで防御するのか。
0:30:07	それとも、この高強度部っていうとかなないといけないのか、セメントかともとはセメント改良だったんでセメントカードだけじゃ駄目なのか、それから考えたときにこの、
0:30:18	高強度の役割は何なんですかっていう。
0:30:21	いわゆる、
0:30:23	セメント改良度、
0:30:26	が、多分、
0:30:28	薄いところだけを保護しているのかもしれないし、
0:30:31	そうしたときにそういった意味での役割だとしたとしたら全部、
0:30:37	或いは一番高いところからトップから現場から、
0:30:42	人の、
0:30:43	概評まで、
0:30:44	の近くまで。
0:30:46	埋め込みの部分まで見ないといけないのかっていうのは、また別の問題かなって気がするりますのでまず、そもそも学校強度の位置付けがまだはっきりとして説明されていないので、我々としてはこれは、
0:30:58	津波簿だけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:00	種俵物衝突防止工。
0:31:04	的な、
0:31:05	意味合いなのかという、今の先行サイトから踏まえて、で考えると全面にやるべきだろう、全面的に、
0:31:12	すごい前面ですべての面で、
0:31:15	宮のあるべきだろうというふうに考えますけど、
0:31:19	それとは違う位置付けで考えてるのはそれはきちっと説明しされるべきだと思いますがいかがですか。
0:31:36	はい。北海道電力の辰田です。
0:31:39	漂流物はこの高強度部自体表裏物対策くうの意味を持ってますので、その辺の
0:31:47	説明これで切このエリアを示して、説明が終わりというわけではなくて、
0:31:56	どういう考えで設計するのかというところを、
0:32:02	許可段階で御説明前説明したところもございますけども、もう一度、
0:32:08	位置付け含めて説明をさせていただこうとする入力津波の、
0:32:14	設計条件も含めて、こういう形で持つ、成立するというところを説明したいと思います。
0:32:22	今日の規制庁の江寄ですが、
0:32:24	共同部っていうのは、そもそも初め
0:32:27	コンセプトしてなかったですよ。
0:32:29	一番最終的には、
0:32:31	それで部長といわゆる津波防護ということでこれつけたわけですけど、
0:32:37	これって、基本的には防潮で守るというていうかこれを力を分散させるために、
0:32:44	これをつけてる。
0:32:46	それともう
0:32:47	体系の一番、
0:32:49	根アノ天端に近いところは、
0:32:51	基本的にはいわゆる肉厚が薄くなる状況になってるので、それを共同
0:32:58	を、
0:32:59	公表してるようなイメージなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:01	どういう考えに基づいてこれつけようとしてるんですか。
0:33:04	説明ください。
0:33:12	北海道電力の松本です。高強度部に関しましては漂流物の荷重能力を分散させるために、
0:33:20	設定したいというふうに考えております。
0:33:22	慶長ノザキで分散させるってことはまあし島根と同じような話で島根はどっちかっていうと吸気方向に分散させるっていうお話なんですけど、
0:33:32	この意味からすると、屋良甲斐言われた強度の低いものに対してはこの
0:33:37	深さを、
0:33:39	ある程度で分散させようと深さ方向に分散させようというイメージなんですよね。
0:33:45	ていうことは、割とその大きな舵を實際かけてどれだけその分散効果が、
0:33:50	あってその分散効果に対して、そういう、
0:33:53	実際の膨張での強度との関係性と相関性もあって、そこでそこからそそう河成からこの範囲が決まってくる。
0:34:02	ていうことになるんですよね。
0:34:03	あと、あと
0:34:05	課長がどこにぶつかるかにもよるんだと思うんですよ。
0:34:10	その辺も含めて考えたときに、簡単にすぐ決まる話ではなくて、
0:34:14	まずは、
0:34:16	衝突させ、嘘する可能性があるものが何なのかっていうのがまだ決まらなと話が出てこなくて、
0:34:24	当然その推進推進もそうだけど、
0:34:26	基本的にはその荷重が関係、大きさにも関係してくるわけだから、速度が決まってこないと、また、設計速度がある程度、
0:34:35	暫定でも決まらなと、なかなか難しいですよ。今 2009 ニュートンという、
0:34:40	それは
0:34:42	既往最大のものを使ってるだけの話で、本当の企業さんのような 3000 何百 kN っていう、あれは 19 t の船なんで、
0:34:52	かなりシマで大きいんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:55	同じ事の中で選ぶとコガになると。ただ、車両系とか、話が出てくるとちょっと変わってくるかもしれませんが、
0:35:03	総務は、
0:35:05	萩野中出
0:35:09	この公共とどう決めていくのか。
0:35:11	ていうのはある程度、
0:35:14	ウ、
0:35:16	結局、基本的に入力津波の設定。
0:35:20	あと漂流物の、
0:35:22	衝突か。
0:35:23	就床物のあれだよね評価、影響評価等が定まらないうとできないっていうと、この範囲は決まらないうことが、しっかりと宣言された方がいいんじゃないでしょうか。それでこれは、
0:35:35	口頭でもいいんだけど何フタミつけてるか。
0:35:38	ていうのを言わないと、
0:35:39	絵で書く以上はそれなりのことね、説明はないと。
0:35:45	わからないわかりにくいかなと思いますけどいかがですか。
0:35:48	いわゆる高強度自体は、その分散効果をねらっていて、
0:35:52	それは、
0:35:53	時計の衝突荷重とかそういったものが定まらないうと、基本的に、
0:35:59	はいその設定範囲は決められない。
0:36:02	一概に決められないってことですよね。
0:36:28	北海道電力の
0:36:30	立田です。
0:36:32	5ページの4※4の話かなと思ってまして高強度部の今表現としては、設定高さの考え方及び設計の妥当性に関する、
0:36:47	見通しと書いてますけども、もうそもそもこの高強度部の位置付けと、それがもう、この段階でまだ決まらない、表裏物。
0:36:58	対象表層にいる着く津波が決まらないうと決まらないうので、その辺を
0:37:04	ちょっとこの書き方だとそれが読めませんので、ちょっと修正をさせていただいて、
0:37:12	書き方としては高強度部の、
0:37:16	いや、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:18	位置図、役割位置付け、設計法施、考え方、考え方、設計、役割か、まず役割とその考え方については、
0:37:53	は、失礼しました
0:37:56	入力性のみが決まった後に、まず細節整理性含めて説明するといふところと、あと、その位置付けとか応力分散って話をさせていたいただきましたのでその辺の記載もわかるように、
0:38:11	都度丁寧に記載をさせていただこうと思います。
0:38:15	私はね、海保ホンダではない古藤に関して言っているのはやっぱり細かい話でも、大分、大分前からねこ公共の話はずっと話が、コメントが出ていて、
0:38:27	それは多分、そちらの、
0:38:31	新電力が申請側とこの、
0:38:34	審査側、
0:38:36	話が、いわゆる、
0:38:40	通知があってないから、いわゆるそちらが何をしたいのかわかっていないから、逆にこちらが、
0:38:46	いろんなことを聞き出そうとし、してしまうんだよね。それは本来ではないんだけど、どういう位置付けなのか、一応わかった上で、じゃあいつそれを議論する場が来るのかということをもまず、
0:38:57	宣言しておかないといつまでたっても、毎回毎回同じコメントで出てきてるので、一応、お互いにそこは注意するという意味で、そちらに考え方とその、
0:39:07	方向性を示してもらったんですけど、
0:39:10	ウダ会合ではそうさらってでいいと思うんですよ。だから、介護でもみんないろいろ我々の審査会以外にも、審議会が、
0:39:18	いろいろ出てくるわけなんで委員も含めてですね、そういう時も同じようなコメントが、
0:39:23	出ないと思う。
0:39:24	限らないんで、そうしたことはある程度わかるようにしといた方がいいんじゃないかということで申し上げ、申し上げてます。以上です。
0:39:39	市野ミウラですちょっと今エザキの話を聞いてて思ったんですけど。
0:39:44	これ分散効果ですよ。
0:39:46	で、島根なんかは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:48	f a l s e 防止工でこれで分散効果を見て防潮てに与える荷重を、もう分散効果を見た。
0:39:56	いわゆる集中荷重じゃなくて、分布荷重か何かに国会で膨張てのチェックをしてるんですよね。
0:40:02	で、
0:40:03	これ、
0:40:04	そう言いながらこの高強度部って、今回設置許可で、
0:40:09	構造成立性検討する。これはモデル化されるんですか。
0:40:13	解析上3次元のモデルでこれをモデル化させて、解析上分散効果を図る。
0:40:19	の下、島根のように、もう別物として、分散効果をはかるための、
0:40:25	もうだから構造物じゃないとして、
0:40:27	荷重の分散化で、分散化をんと、これを介して行うことで膨張等の設計をするのか、どっち考えられます。
0:40:40	北海道電力の松本です。現在高強度部を二次元3次元のモデルにモデル化して解析をしようと思っております。分散化、
0:40:49	ていう構造物の一部として高強度部を設けてあって、間接的にその分散型の解析上、
0:40:57	地盤改良部に入る力っていうのが分散されるのを、
0:41:03	全部含んで解析をするって意味。だからシマダの使い方がちょっと違うのかな。
0:41:13	北海道電力のマツモト実そおっしゃる通り、ちょっと島根とは考え方がちょっと異なるかもしれません。いわゆる漂流物ぶー防止工程イメージが、イメージよりは、
0:41:26	構造物の一部として、ぶつかる部分固いものにしてあって、全体に地盤改良部に荷重が分散していくような構造として、
0:41:37	評価しますっていうことなので、そこんところちょっとシマねと、こっちにならないほうがいいですよ、シマ長野構造体ではなくて分散効果だけなんで、
0:41:47	その分散した荷重を防潮てに直接入れてる。
0:41:51	ところなので、ちょっとそこ違いがあるんで、そこんところはちょっと誤解のないようにしといたらいいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:00	同電力の松本です。承知しました高強度部の設計の考え方についてもどういった果樹。どういったようにモデル化するのかといったところと、
0:42:09	漂流物荷重の
0:42:13	考慮の仕方といったところがまとめ資料でわかるように整理させていただきますそうですねその辺もだから役割としてね、あんまりシマ横尾そのままダイレクト映してくれてまた話もおかしくなってしまうので、
0:42:25	あと公共ROVって言うてるのはこれ、コンクリートのことですか。
0:42:29	何に対して公共だっておっしゃられてるのかな。
0:42:34	北海道電力の松本です高強度部=コンクリートでございます。
0:42:39	ことなんですね。だから、
0:42:41	セメント改良度よりは硬いコンクリートを用いるっていう意味で公共部っていう表現を使われてるって理解でいいですか。
0:42:49	そのマツモトです。おっしゃる通りです。
0:42:51	これちょっと説明しといたらいいかもしれないですよ。何か貢献公共道具って言うてる何に対しての公共土木なのかね。実際には何を作ろうとしてるのがちょっと不明確なので、
0:43:02	今言ったように多分、改良度よりも高い強度を持つコンクリート構造って意味で多分使われてるんでしょうから、
0:43:09	どっかで最初説明された場合、いいですね。
0:43:18	電力の松本です。今のコメントを承知しましたので資料に反映させていただきたいと思います。
0:43:25	パワーポイント資料に反映させていただきたいと。
0:43:31	今後も、
0:43:56	該当するか否かも。
0:44:03	のところで、
0:44:07	オンダですと、簡単に書いていて、
0:44:16	クリタトダテもう少し追加追求されるんですけど。だったらその全体として公共道具って一体何を言ってるのかっていう、どういう言葉遣いをされてるかがちょっと入れたらいいと思うんですよ。
0:44:28	聞いてないですが、次、こちらでちょっと気にしているのは懸念。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:33	いしているのは公共ROVってのは今回、
0:44:36	いわゆるその議論の対障じゃないんですよね。
0:44:40	なので、あまり上前せずに、表舞台でちゃんと議論した方がいい ということがあるのであれば、それはそれで、基本的に、
0:44:50	それもクローズアップした方が、
0:44:52	タイミング的にね、公開じゃない方がいいのかもしれないし、そ の辺をよく考えた上で、高強度部ってのは、とりあえず書いてあ るからそのある程度説明をする必要があるんだけど、ここで決定 されるものではない。
0:45:03	審査会合っていう形にしとかなないと、後々
0:45:08	ここに関してまだ懸念着が後から出てきたりし、十分説明してい ないこととかこっちは聞いていないことによって、またその疑義 が生まれて、また会合にかけないように、
0:45:20	大野での件懸案事項に浮かび上がるようなことがあるとするなら ばそれはよろしくないのっていう懸念があるので、そういった ことも配慮した上で、記載は一応充実していただければと思いま す。
0:45:57	そうですねいや、タダノ谷私これ公共土木って言葉の定義だけっ て一体何示したのかぐらい言ったらどうですかということだけな んで。
0:46:27	北海道電力の立田です今の宮村さん三浦さんのコメントをちょっ と踏まえましてこの4の高強度部の説明の中にちょっと修文する 中で、コンクリートだということがわかるような記載を、
0:46:42	させていただこうと思います。以上です。
0:46:46	はい。先ほどの指摘も踏まえたこのそもそも公共土木なんで、何 で必要なのかという、家の土佐潤さんの話とか、先ほどのご指摘 を踏まえて、コンクリートだということがわかるような記載にさ せていただこうと思います。以上です。
0:47:17	じゃあ、6ページの方に質疑に入りたいと思います。
0:47:24	はい。
0:47:25	規制庁の谷口です。
0:47:29	6ページ目のところに、
0:47:31	止水目地構造の変更、これは前回マエダオダと、
0:47:36	やりとりがあったと思いますけれども、
0:47:39	ここの3番目のところの丸のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:42	構造変更後の詳細は、今後、設置変更許可段階で説明すると。
0:47:48	この中の概要と設計方針と、それから、V温泉への試験結果を、解析結果って書いてあるんですけど、
0:47:57	これは、
0:47:58	44 ページ目に書いてある、このスケジュール、
0:48:03	の中でいうと、
0:48:05	3 番目の吹鳴時に関する検討方針のところの、
0:48:09	評価方針のところは、
0:48:12	まだ説明できてないっていいんですよね。
0:48:21	北海道電力の松本です。そうですね評価条件のところは、まだ説明できていないというところで、本日、一部説明の記載のみになってますが正しくは次回の
0:48:35	説明時期を記載すべきかなと思いますので、
0:48:39	記載をしたいと思います。はい。そういうことで、止水目地の変更の内容を説明しただけで、具体的な評価方針とか、
0:48:50	妥当性についての検討は、ここに書いてある。
0:48:54	23 年の 12 月なり、24 年の 1 月で説明してくれるということ。
0:49:00	というイメージで考えてますけどそれでいいですね。
0:49:10	電力の松元です。今評価方針の解析条件の細かいところにつきましては 12 月上旬もしくは 1 月下旬というところ、どちらかと考えておりますので、
0:49:23	ちょっとそこを帰って持ち帰って検討してからこちらに記載したいと思います。はい。その辺、今の 6 ページの下から 6 ページ目の書き方と、ここは、
0:49:34	合わせておいてください。
0:49:36	よろしく願います。
0:49:39	はい、田島以上です。
0:49:44	規制庁大橋です。誤字脱字の類なんですけど、6 ページの、
0:49:50	下の方の構造変更図、今回説明の左側の図で、
0:49:55	袋ナット、引き出してるんですけど、
0:49:58	これ矢印がナットまで到達してないんで、
0:50:01	これはもうちょっと伸ばしてください。回答要りません。
0:50:13	藤尾ナカさんです。これも大した指摘じゃないんですけど、
0:50:18	三つ目のルーで構造詳細変更後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:22	今後設置許可段階で説明というのはこれもさっき言ったように、4ページ目、3章で時期については4ページ目参照という括弧で加えたほうがわかりやすいと思います。
0:50:36	特に設置許可段階はいつごろ説明するんだってということは、委員とか幹部の方が非常に危惧するところなんで、そこら辺は、追加してもらえばと思います。
0:50:47	私から以上です。
0:50:51	どう電力のマツモトですコミット承知いたしました。
0:50:57	規制庁の三浦ですけど。
0:50:59	これちょっと前から少し引っかかってたんですがそのページの、
0:51:03	右側の挙動イメージ。
0:51:05	前のご説明のときに、これ、FM系でモデル化するんだけど、
0:51:11	この止水目地部ってというのは、ビーム要素か何かでモデル化しますっていうお話されたじゃないですか。
0:51:17	そのビーム要素等、あと地盤改良部ってというのは5倍か何かでこう結んで、その値から境界力を持ってくるんですってご説明されてましたよね。
0:51:27	受講生が小さいから、
0:51:31	確かに剛性は小さくなるんで、
0:51:34	確かに低減効果出てくるかもしれんけどこれ質量って入れてるんでしょこの微分要素入れてます。
0:51:43	移動電力のサトウです。質量も入れてます。そうするとね、
0:51:48	これー、
0:51:50	左側の取水目Gーババ、姫路の場合ってのはコンクリート部も全部質量として入ってくるわけですよ。
0:51:58	今回の場合は、定着版だ形の、
0:52:02	合成と質量が入ってくるでしょ。
0:52:05	そうすると、質量差ってというのが、この境界領空をすごく小さくする要因の一つになってるんじゃない。
0:52:16	北海道電力のサトウです質量サーもありますが、
0:52:23	セメント改良度との間の剛性部分で出てくる力。
0:52:28	もう、やはり、もともとそちら大きくてですね、ソネ境界部分って、バネの数、反力読むって言ってたじゃないですか。
0:52:39	郷原反力って、当然上の質量の分が入ってきちゃいますよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:46	だから、いや、あんまりこだわることはなくて、単に確かに受講生も一つの要因だと思うけど、もう一つの要因としては、やっぱり質量あんまり大體ない。
0:52:56	構造にしました。
0:52:58	ていうことはね、この境界力を小さくしてる一つの大きな要因だと思ったんですよ。
0:53:03	なので、
0:53:04	この右の部分、その辺ところ正確に書いたらいいような気がします。
0:53:08	軸剛性及び質量がかなり低減されるので、応答値が、境界力が小さくなりましたってことを少し明確にしといたらどうでしょうか。
0:53:19	北海道電力の佐藤です。質量についても影響があったのは確かの話ですので、ここの記載について、質量影響についても記載させていただこうと思います。
0:53:31	梅田さんお願いしますこれ多分だって必要で見ると、自分の人がそういう定義になっちゃうよねきっとね。
0:53:37	だから、もっと大きいかもしれない。だからちょっとその影響も必ず、境界反力には出てくるので、
0:53:44	正確に書いておきましょう。ちょっと重合性だけだとちょっとピンとこないところあります。
0:53:49	北海道電力の佐藤です。承知しました。
0:53:54	規制庁の江寄ですが、この6ページの三つ目の、
0:53:58	丸のところですね、各詳細等の括弧書きで、
0:54:02	構造概要で、最後、
0:54:04	及び解析結果ってなってんすけど、そのあとに頭入れませんか。
0:54:10	なぜかっていうと、我々が出しているコメントの中では、今回反映されていない。
0:54:16	部分があるわけですよ。それを
0:54:20	力の伝達機構だとか、
0:54:22	そういったいろいろな話がありましたよね。
0:54:24	それも含めていった時にはここでは全部滑ってそれに対する
0:54:29	解析方法設備設計包摂方針を説明するだけじゃなくてその妥当性も説明してって言うてるんで、それが多分、試験結果だけかっていうとそれだけでは限らないと思うので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:41	そういった意味で処理等をつけとけば、今までのヒアリングと紐つくとは思うんですけどいかがですか。
0:55:00	北海道電力の佐藤です。すでにコメントいただいた内容もありまして、妥当性等というところで、この記載。
0:55:09	概要方針、結果、解析結果等というふうな記載に直させていただきます。
0:55:19	6ページに関して他はよろしいそうだったら、じゃ、次は、
0:55:26	今までは今1ポツだったんですけどこの2ポツとこう。7ページ以降は構造成立性評価断面の集約ということで、7から、
0:55:35	8、9、
0:55:37	10、11、
0:55:39	ちょっと量が多いですけどちょっとここんもう7から12かナカに関してそれではもうまとめて質疑に入りたいと思いますので、
0:55:47	はい。
0:55:59	はい。
0:56:02	9ページ目に行きます。
0:56:06	これ構造成立性の評価断面の選定における候補断面の抽出という形で書いてるんですけど、
0:56:13	これ
0:56:15	位置図の中で、
0:56:17	88段目、これは一般ではなくて、
0:56:23	田んぼのところの部分についても、
0:56:26	候補断面として、88段目ってのは抽出してるんですよ。
0:56:32	これ、
0:56:34	教えてください。
0:56:37	北海道電力の松本です。8番目の端部断面につきましても成立性評価断面として設置変更許可段階で成立性は説明させていただきたいと考えております。
0:56:49	ただこの資料上はですね1から7の断面の表、端部以外の標準部といったところの断面の説明をしているところになりますので、
0:56:59	ここで、88断面の扱いにつきましても※1のところ、補足させていただいているといったところです。
0:57:08	この辺、
0:57:11	いちいち第1111回のやつ私も見ました。そこで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:18	担保については88断面を代表とすると書いてあるので、それはわかりました。ただ布田面として、
0:57:27	1、今回は2断面かな、2段目を代表にしたい、一般のところをしたいという形だと思いますけど、
0:57:35	特にこの8のところは漏れないように、基本的には、本当は一覧に載せていただいた方がいいんじゃないかなと思ってますけど、その辺の
0:57:46	クリアにわかるようにしておいてください。
0:58:05	須藤電力の松本です。8安間の詳細については、今後評価結果等説明したいと考えておりますので※1に追記させていただきます。はい。
0:58:16	8があるってことをきっちり書いといてください。
0:58:25	それからですねえ。
0:58:57	そうですね。
0:58:58	基本的には今の端部のところの収まりの話は2月に出てきてるのですけど、当然
0:59:09	目地のところも変わるし、高さも変わるし、モデルも
0:59:15	当然あるので変わると思いますので、当然そういうものも反映した上で、
0:59:21	フォロー、
0:59:23	やっていただければと思います。よろしくお願いします。
1:00:25	電力の松元です。88断面の詳細については今いただいたコメントまとめ資料等で適切に反映させていただきたいと思います。あとこの資料上一般部の断面選定がわかるように、黄色のテキストボックスの中で文言追記させていただきたいと考えております。以上です。
1:00:48	よろしくお願いします。
1:00:50	それからですねえ。
1:00:53	11ページ目のところですが、ごめんなさい、10、10ページ目のところでは
1:01:00	10ページ目のところはコード生成評価断面の選定結果として書いてあるところの下に、
1:01:06	*3で書いてあるところがあって、
1:01:10	これ、構造成立性評価においては保守的に設定した津波高さ投資って書いてある、あるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:01:18	これは主語が主語がなくてよくわからないんですけど、
1:01:23	これは、
1:01:24	津波高さを保守的に農協で天端とした。
1:01:29	するっていう。
1:01:30	意味ですか。
1:01:34	井戸電力の松本です。おっしゃる通りです。はい。ちょっと主語がないので、きちり、
1:01:41	何をどうしたって書いてください。北海道電力の松本です。
1:01:46	承知しました。あと5ページのところで保守的にという書き方も修正するという流れですので、こちらのは、季沙伊井も見直したいと思います。はい。よろしくお願いします。
1:01:59	それから11ページ目のところ、
1:02:01	これ評価断面の集約っていうところで、これ、結論としては2断面に集約したいということだと思いますけれども、
1:02:12	その一番下のところの丸のところ、
1:02:15	ここも、地震時については、2断面に保守的に作用させる徳田面を、のドーナツを、
1:02:24	津波及び受居住時は、
1:02:27	ぶつけ層厚だから2段目の、
1:02:31	動圧を作用させるって書いてあるところですけど。
1:02:34	これは度圧に対してこういうふうに判断をして、
1:02:38	2断面に地震時等津波時の評価のときに、戸松のかけ方を変えるっていうことを言ってるんですね。
1:02:50	北海道電力の松本です。おっしゃる通りです。はい。これ下の表のところの備考のところろうが、地震時の外しか変えてないので、
1:03:02	ここについては柴大江の文書をそのまま生かすのであれば、
1:03:06	東条知に関してのものも書き込まないといけないし、ちょっとこの辺足らない不足してるような感じもあるので、この文章と表は、
1:03:17	言ってることを、
1:03:20	整合させといてください。
1:03:24	電力のマツモトです承知しました。はい。よろしくお願いします。以上です。
1:03:33	規制庁大橋です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:35	パフォの8ページの方に、観点が1から4まであって、
1:03:40	9ページ以降、説明があるんですけど、
1:03:43	③が構造的特徴ってということなんですが、
1:03:48	これ被水イメージの話が今回あんまりなくなったんで、ちょっと 抜けちゃったのかもしれないですが、
1:03:55	9ページの平面図を見ると、
1:03:58	どうしても平面的に屈曲しているところの、
1:04:02	検討しなくていいのかっていうような、
1:04:05	話になっちゃうんですが、
1:04:07	これ以前の説明で、屈曲部は、
1:04:12	目地入れて、
1:04:13	そういう、
1:04:15	屈曲の影響はなくしますっていうような話も、
1:04:19	あったんですか。それがすべてこの延長上に、
1:04:24	Ⅱ、
1:04:26	それを適用するんでしたら、
1:04:29	ここの③の構造的特徴のところ、
1:04:34	平面的な屈曲については、
1:04:36	目地連携をするので、そういう影響はないっていうことを、ちょ っと一言書いていただくか、
1:04:44	それともどっか入れないところがあるんだったら、そこは、
1:04:48	水平2方向なり、
1:04:50	業務部の検討は別途行うとか、
1:04:53	そういう方針をちょっと書いていただいた方が、これ絶対気にな っちゃうんで、
1:04:59	このままだとまた、
1:05:01	コメントが出てくると思いますので、そこはちょっと方針変え て、
1:05:05	欲しいなと思います。
1:05:07	あと、9ページの、
1:05:09	先ほどの※1の下の※2で、
1:05:13	7段7断面については、
1:05:18	7断面を選定することっていう具合に書いてあるんですが、です から、この選定って書きちゃうと、
1:05:25	断面選定の方に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:27	見えちゃうんで、
1:05:28	ここは
1:05:31	選定断面候補とか、
1:05:33	そういう方が適するんじゃないかなと思います。
1:05:38	以上です。
1:05:40	北海道電力の松元です。8ページにつきましては、屈曲部の方針ということで現在の屈曲部には明示を入れる方針でございますので、注釈を追記させていただきたいと思います。
1:05:53	あと9ページの※2の記載で7断面を選定することはというところは、前回審査会后資料の
1:06:01	7'アノ7の断面付近で2ヶ所、断面を比較したといったところの名残が残ってますので、そちらを見直させていただきたいと思います。以上です。
1:06:15	SIMMERす。
1:06:40	うーん。
1:06:44	すいません規制庁中尾笹です。
1:06:49	いつ狩野県にはちょっと関係ないんですけど、
1:06:52	少しこの図を見て確認したいことがありましたんで、
1:06:57	今回言わせてもらいます。
1:07:02	8ページGの図を見ると、
1:07:08	この辺は、すみません、8ページじゃんね。
1:07:11	なんかちょっと、
1:07:13	例えば11ページの図の2'断面を見ると、
1:07:18	これは膨張ては海側にある防波堤とか埋戻し等を全部これ無視して、
1:07:28	使ってる断面で、地震時及び、
1:07:32	津波時を検討するという話になってるかと思います。
1:07:36	実際の2段目を見ますとこれ13ページ目。
1:07:41	2、地質図の任意断面を見ますと、
1:07:44	へえ。
1:07:46	海側の海底面は左室度ですね。
1:07:50	点数。
1:07:50	砂田てて、
1:07:53	海底面カーは当然液状化の可能性があるので。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:58	これについて、海底民家を地盤改良するってことは多分しないと 思いますんで、
1:08:03	ここへ行き、液状化した場合に、その防潮て前面、
1:08:09	いわゆる防波堤とかですね。
1:08:12	メモ像指導が、当然地震で、S s 対応になってないんで崩れてい くと。
1:08:19	そんな時に、
1:08:20	地震で崩れて、その
1:08:23	あとに津波が来たら、この
1:08:27	前面にあるテトラとかですね、防波堤の一部が、
1:08:31	壊れてですね、それが不評リブツになって、
1:08:37	その時には埋め戻し度がほとんどなければ、
1:08:40	防潮てにあたる可能性があるんじゃないかと。
1:08:44	でもないんだったらないで構わないんですけどここら辺っていう のは、
1:08:50	その液状化に伴う棒膨張て前面の
1:08:55	地震Gの、
1:08:57	構造物の壊れ方っていうんですかね、そういう波及的影響です ね。
1:09:05	それが壊れて、津波時の漂流物になるかっていう波及的影響があ るかと思います。
1:09:11	それは、
1:09:12	包丁でだけーに対してではなくて、3号の主水路を取水炉指針時に も、その壊れたですね防波堤の一部とか何か
1:09:26	つぎ込まれていく可能性もないのかということがありまして、
1:09:31	これは今この資料、
1:09:34	とは全然関係ないんですけどそういう懸念が考えられるのかなと 思ひまして、そういう懸念に対してですね。
1:09:42	今後、
1:09:43	設置許可段階で何らかの手を打つとか、
1:09:47	数値的に解析するかという話を考えられているのかなと。
1:09:53	基本的に11、1ページの2断面に対しては、
1:09:58	防潮てに対しては非常に安全側の設計だと思うんですけど、
1:10:02	その防潮て、
1:10:05	13ページ目の、地質図の2、2'断面、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:10	円を見ると棒調定だけではなくてその前面にある。
1:10:17	ものがS sでそのあとの津波で、
1:10:21	その波及的影響を及ぼす可能性が否定できないのではないか と、この点について、
1:10:29	何か
1:10:31	定量的定性的に、
1:10:33	評価する必要は、
1:10:37	今の段階ではないんですけど、設置許可段階で、
1:10:41	やるとやる必要があれば今から手を打つ必要があるかなと思っ てるんですけど。
1:10:50	いかがでしょうか。
1:10:54	北海道電力の上原です。今ご指摘のございました、包丁ての前に ある防波堤等の構造物でございます。こちらについては漂流物の
1:11:07	抽出の対象となっております。
1:11:10	で、
1:11:12	防波堤、
1:11:14	含めて、比重の評価であったり、あと流速が決まれば活動の評 価、そういったことを以前
1:11:24	非常に評価までは求め終了でもしかしたら出してたかもしれない んですけども、今後津波決まり次第、必対津波の一通りのご説 明の中で、その辺り整理させていただきたいと考えてございま す。
1:11:54	規制庁フジワラ、
1:11:56	向こう何か今ベッ等棒は、
1:11:59	市サンゴ取水口の前面に何か結構、他プラントと違って防波堤が 近接してありますよ。今の多分話っちゃうのは、昔そう言った、 すごい近い防波堤が、
1:12:11	7行影響ないかという、確か何か少し喧嘩なんかや、
1:12:15	てませんでしたっけね。それとの絡みで、この防潮で教員の違い だけなのかもしれないけど要は表まず漂流物化するかしらないか。
1:12:26	それからにぶつかったとして、
1:12:29	防潮底がもつかもたんかって幾らか手順はあると思うんですけど、
1:12:34	そういうの絡みで説明。
1:12:36	は可能かなってちょっと今、何となく思ったんですけど、この点い かがですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:43	北海道電力の植原です。3号取水口近傍の防波堤につきましては、水理模型実験等を行いまして、取水口は閉塞させないと。
1:12:55	そういったことは、今後ご説明しようと考えているという状況になります。
1:13:01	それに対しても、
1:13:12	といった話であります。
1:13:15	何か、そこまで流れないか。
1:13:17	そうですね。はい。
1:13:32	ウエハラですけれども
1:14:26	現状は取水口については、先ほどお伝えした通り水木事件と考えてございますし、防潮堤についてはさらに距離的にも離れていると。
1:14:36	いったところもございます。この辺りにつきましては、今回の膨張てというよりは、今後の耐津波設計の中で、改めてご説明いたします。
1:14:51	笠田です。よろしく申し上げます。お互いに忘れないように、説明よろしく申し上げます。以上です。
1:15:03	目指す、ちょっと細かいことだけ。
1:15:06	10ページのね。
1:15:10	この表、構造成立性断面候補の整理って
1:15:15	周辺状況と④のD値方面からの岩盤深さの、
1:15:20	20.6とか18.9って数字があるじゃないですか。
1:15:24	例えば、ロクロク駄目だと、隣接構造物の高さ2.7メートルとかあるじゃないですか。
1:15:30	これー11ページの右下の図で、
1:15:34	今言った数字を得るように、
1:15:37	しといてもらえません。
1:15:40	電力の松元です。承知しました。
1:15:43	マース記載だけです。
1:15:52	規制庁オオクマあ、規制庁クマガイです。
1:15:55	と私の方からフローの
1:15:59	7ページのところのフローについてですけども、
1:16:04	今回、フローのところについて
1:16:07	考え方を整理していただいて、示していただいているんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:12	ちょっと私ももうちょっとですね、より、
1:16:15	わかりやすくしていただきたいというのが、
1:16:18	そうじゃないとちょっと、どういった考え方をしてるのかっていうのがですね。
1:16:22	わかりづらいなと思っております、
1:16:24	というのもその、
1:16:26	今回、
1:16:27	枠の中ですね。
1:16:29	二つ目のところで丸二つ目のところで、上記、
1:16:32	重畳してる時のですね、断面選定については
1:16:37	同事象の選定フローを考慮するというふうにあるんです。そういったところもですねこのフロー図上に、
1:16:44	きちんと示していただいたらですねどういった考え方で、北海道電力の方で、
1:16:50	この断面選定をしてるのかっていう考え方を、このフローで示されようとしてらっしゃるはずですので、
1:16:57	そういったものですねきちんと分かるように、
1:16:59	していただきたいなと思っておりますこのスタートからエンドウまでに行く間でですね、
1:17:05	どういうふうにやってるのかというのを、
1:17:07	具体的に、具体的にというか実際やってるような内容をですね。
1:17:11	ここにもちゃんとあらわしていただきたいというのが、
1:17:16	ツジのお願いなんです。ていうかそういったことをしないとですね。
1:17:20	考え方がわかりづらいなというところなんですけども。
1:17:23	この7ページの、
1:17:24	内容と8ページ以降の内容がですね。
1:17:30	何か、
1:17:31	どれだけそのどういうふうですね繋がってるのかっていうのが、
1:17:35	この資料を見ただけだとわかりづらいなと思っております、
1:17:39	7ページでそのスタートを出てですね、地震時における断面選定と津波時における断面選定と、これ。
1:17:45	二つに分かれてますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:47	今回、地震時における断面選定の流れのところ、8ページ以降で、
1:17:52	示されていて、
1:17:55	この今度津波時における断面選定と、これ津波時におけるダンメンって何か選定をしようとされてるんでしょうか。何かそれをした上で、
1:18:05	地震時の断面とフタミノダ目を、
1:18:10	あわせて集約しようとしてるのか。
1:18:13	それとも何か、
1:18:16	地震時に
1:18:17	10ページの状況何表なんかを見ますとですね
1:18:22	地震における断面選定のこの、
1:18:25	候補断面の整理の中で、
1:18:31	津波荷重の大きさの整理ということでその津波における瀬断面選定の、
1:18:37	項目等をですね
1:18:40	表の中に記載されていたりとかして、
1:18:44	その地震における断面選定と、
1:18:47	津波における断面選定、どういうふうにやられてるのか、出揃い、
1:18:51	重畳したときはどういうふうに、
1:18:53	するのか、重畳するときの内容については11ページとかに記載されてはいますけど、フロー上はどうされてるのかははっきりしていないというところもありますし、
1:19:04	さらに言うと
1:19:06	地震時の
1:19:08	構造成立性断面、
1:19:09	候補の整理というような、
1:19:11	漠と、今回、
1:19:13	追加していただいた箱枠の右のところですね。
1:19:17	断面の集約っていうところの観点、このそれぞれの観点って、
1:19:22	結構重複してるようなところもあるかのように見えるんですけども、
1:19:27	この別々のタイミングで、
1:19:29	同じような項目のものをですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:19:32	やってるってというような考え方。
1:19:35	そういったことの同意、どういうふうにしてですね、実際、
1:19:39	北海道電力さんとしてやられてるのかっていうのが、
1:19:43	わかりづらいなというのがありまして、
1:19:45	ちょっとそこら辺の流れをどういうふうにされてるのかっていうのを、
1:19:49	簡単に。
1:19:51	いければと思いますけども、いかがでしょうか。
1:20:05	北海道電力の松本です。
1:20:07	町条例につきましては、まず地震時における断面選定のフローも通るし、津波時における断面選定のフロー T a l l といった、考え方でございます。
1:20:20	その上で、津波、地震時における断面選定、
1:20:27	の観点で 10 ページに示しておりますけども、加えて津波時における断面選定の観点で、防潮て前面の敷地高さ括弧岩盤高さの整理というのがフローの中に書いておりまして、
1:20:41	こちらが津波波力に影響してくるといった観点で、こういった観点で選ぶとやはり、岩盤深さが深いところが選ばれてくると。
1:20:52	選べ、選ばれてきます。その観点で 1 から 7 断面は、選定しておりますので、候補断面の選定においても、候補断面の選定において津波時における断面選定は、網羅されていると考えております。
1:21:08	そういった観点でも 10 ページにおいて包丁て前面に作用する津波荷重という項目で整理をさせていただいておりますけども、まず、
1:21:19	7 ページのフローにおいては、地震時における断面選定と書いておりますけども、地震時及び重畳時における断面選定というふうに重畳時もこのフローを通りますというのがわかるようにした方が良いのかなと。
1:21:32	考えますと、津波時も同様に、そのように記載するのが良いのかなと考えました。
1:21:39	津波時における断面選定のこの防潮て前面の敷地高、岩盤深さといった観点は、左の地震時の①から④の中の④の周辺状況の、
1:21:52	残高に類似しているものですのでこういった観点で整理をしますといったところが、過去のフローでわかるように、周辺状況で

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	整理をしていますのを、フローに反映したいというふうに考えました。
1:22:08	最終的に 10 ページで整理をしておりますけども、当間地震時の観点で、何に着目して、断面を選定したのか。例えば、
1:22:20	地震時ですと、ドアツーに着目と圧と、あと、岩盤までの高さが、が高い方が、
1:22:29	評価上不利になる条件と考えてますので、地震時に関してはこの項目に着目して選定したと。津波時につきましては、
1:22:40	津波荷重が大きいほうが、評価上不利になると考えてますので、津波荷重に着目して選定したといったことがわかるようにしたいと思います。
1:22:54	はい。ご説明ありがとうございます。
1:22:58	このフロー、
1:23:00	1 からまた見直すとまた時間もかかってしまうかと思うので
1:23:05	御社に北海道電力としての考え方のデータとしては、
1:23:09	8 ページ以降にですねそれぞれ示されているかとは、
1:23:13	思うので、
1:23:18	プロの江野より、
1:23:21	わかりやすさの観点でですね今後またよりわかりやすいような形にですね、適直していただければいいなと思ってますので、
1:23:30	それは
1:23:31	今後ですね、きちんと整理していただければなと思ってます。
1:23:44	規制庁の江寄です多分フローフローが、
1:23:47	何がカミヤないのかっていう一番上に断面選定ってあるんで、
1:23:51	それぞれが断面設定やってるんだけど、結局 11 ページ見ると、
1:23:55	それぞれ地震 G の影響因子等を、
1:23:59	津波の影響因子を総合勘案して、断面選定なんてんだよね。そういうことだよね。
1:24:06	だから、
1:24:07	それぞれのこのフローだと、スタートが二つに分かれて、二つの経路、
1:24:15	並列に、
1:24:16	駄目選定を、を実施しているように、
1:24:20	見えるんだけど実際そうではないんだよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:23	そこが多分さ、紙、ちょっとわかりにくくなってるのかもしれないね。
1:24:31	うん。
1:24:38	抽出とかね、いわゆるね、例えば、駄目選定って言葉が悪いのかな。
1:24:43	断面選定は、
1:24:44	もう1個下の赤い枠の前に、ちょっと断面設定があるんじゃないの。
1:24:51	そのあとに集約してるんですよね。
1:24:54	そのあとに集約するってことでね。
1:24:57	うん。
1:24:58	多分、
1:25:00	上のところは、
1:25:03	そう、例えば、
1:25:05	断面選定に対する、地震時の影響因子。
1:25:10	どう抽出するか。
1:25:12	影響程度の方とかいう。
1:25:15	把握だとか、その面にしといて、
1:25:19	断面選定って
1:25:21	どこまで行かずにいわゆる
1:25:24	津波時の影響因子、
1:25:26	ゆ
1:25:27	の評価とか、
1:25:29	による評価とかそのぐらいの話にしといて、じゃあ検討とかぐらいにしといてさ、下に。
1:25:36	二つのところが、
1:25:39	ね、一つまとまる
1:25:42	断面選定の集約という1個前のところに
1:25:46	選定檀明を、
1:25:49	駄目、断面選定っていい入れとけばいいんじゃないか。
1:25:56	規制庁クマガイですが、
1:25:58	このフローの中で、四角のところって何かそのプロセスの内容をです、書くような形にしましろう。
1:26:05	たほうがいいんじゃないかなと思うんですね、この断面選定っていうのはこれで何かプロセスをやるわけじゃないわけですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:11	駄目選定をするためにのルートを何かこっちに書きますよっていう記載なのでそれを四角囲いしちゃうと、ちょっとまた、
1:26:19	意味が違ってくるような形になって見づらくなってしまってるのかなと思いますので、そういった後宮里観点もですね、
1:26:26	整理してもらった方がいいのかなあとって、
1:26:29	適格できるかどうかは別か規制庁の江寄ですから、別ですけど、このフローチャートと、この各ページでやってることを、
1:26:37	このフローちょっとイベント分で、その関係上、必ず入れ込めないかもしれないけど、
1:26:44	入れ込めるようなこともちょっと考えた上で、フローを作らないと多分せ説明が、
1:26:51	わかりにくくなってるかもしれない。
1:26:53	僕の頭ん中では僕あんまりわかんなかったんだけどもやりたいことが大体わかってるんで10ページ、11ページ、10ページですよね10ページで大体ね、やりたいことはもうここでわかってるので、ここだけ見ときゃいいやっていう感じしか聞いてないからかもしれないですけど。
1:27:08	そういった時は簡単に50ページでやってること、八、九で、八、九ページでやっていることを踏まえて7ページはそのソフトプロログとして、
1:27:19	何を示してるのかっていうと、図最初クマガイようにですね、ちょっとやってることと、フローチャートがちょっとかみ合っていないのはちょっとわかりにくいかもしれないので、そこはちょっと工夫でいいですから。
1:27:30	あまり、この資料と説明することとフローがあまり乖離しない程度にちょっと、
1:27:39	適正化していただけますか。
1:27:50	じゃけど、
1:27:51	あ、すいません規制庁タダウチですけど、ちょっと7ページのフローの話が出てるんですけど、
1:27:58	これな、7ページのこれフローと称しているのはこれ単純にすいません地震時におけるものと津波におけるものを2ルート、場合分けしてる時にすぎないもので、何かを、
1:28:10	これのう手順に沿って住ん別とか選別するような中身にはなっていないんじゃないかなって気がしているので、そういった意味では

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ちょっと、単純に後にね書いてあることは個別個別で理解はできると思うし、じゃあそれをどうやって適切な手順にするかとそれはアノオオクマ
1:28:30	さっきのもさんざん言ってるんですけどそこら辺の別れのものにもう一度ちょっと、7ページは、作り変えてもらってフローと称するものにするのか、単純にあの場場合は下でこういう、その手順でやりましたものにするのかそこら辺を、
1:28:44	もうちょっとわかりやすく、明らかにしてもらった方が、いいんじゃないか説明としてはいいんじゃないかなとは思いますが。
1:30:04	現在事業者内で検討中ですので、
1:34:51	お待たせしましたすみません、北海道電力の辰田です。ちょっと7ページのフローを作って、まずちょっと修正することで考えたいと思います。
1:35:02	テスト具体的にはスタートから地震時における断面選定って書いてますけども単に、地震時と津波で分けてるだけなのでその箱を止めて、地震時側でのっていう、
1:35:14	断トツに流れるかぐらいの記載にさせていただいて、
1:35:18	あと、フローの中身の趣旨は説明を、
1:35:22	10ページ、11ページで、説明してございますのでその中身の話と整合をとるように、
1:35:30	ちょっと周辺状況の話が、地震と津波時両方関わってきますのでその辺を、
1:35:37	7ページのフローにもちょっと反映させていただいて、あとさ、今回追加と赤枠の断面集約の話は、
1:35:46	11ページ目の説明ですのでその辺も紐づくように修正を考えたいと思います。以上です。
1:36:02	1オクナガエです。はい、ではきちんとよろしくお願ひしますと、あとですね、ちなみに、7ページのところの選定フローというところは、一般部の、
1:36:11	断面線点だけを書いてるってことでよろしいんですよね。
1:36:14	そこら辺もし、
1:36:16	わかるようにできればと思いますのでよろしくお願ひします。
1:36:27	電力の松本です。今回説明させていただくのは一般部に対象としたということがわかるように、一般部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:35	ちょっと一般部における断面選定フローということをごどこかに記載させていただきます。
1:36:49	はい。規制庁藤原です。それでは資料全体を通じてまず会議室にいる比嘉他で規制庁のもので、
1:37:00	会議室にいる中で、この全体を通じて何か確認したいことございますか。
1:37:13	規制庁の若狭です。
1:37:17	全体を通じてですね
1:37:21	4 ページ 2 ページだけ書いてある止水目地。
1:37:25	の方針なんですけどこれって、
1:37:29	あれですよ
1:37:32	準
1:37:34	シミズの設計方針は本日中で、それぐん。
1:37:41	12 月下旬とか、
1:37:43	来年 1 月にこの目地の詳細っていうか、設置許可の話を出てるんですけどその前にですね前回言った、
1:37:53	割れは例の懸念事項ですね。
1:37:56	いわゆる、アンカーボルト等の縦横のアンカーボルトの大井。
1:38:05	分担率とかですね。
1:38:08	定着材の剛性とか、
1:38:10	津波荷重とか地震荷重のを、
1:38:14	F E M の考え方とかそういう基本的な
1:38:19	事故をですね、
1:38:21	順々に説明するのか、その 12 月とか 1 月にまとめて説明するのか。
1:38:28	何かあるんでしょうか。いや、我々としてはできるところから説明してもらった方が、ある 1 前版と来て、これもどれもというよりも、
1:38:39	基本的にわかるところから説明してもらった方が、
1:38:43	手戻りが少なくないかなと思うんですけどそこら辺の考えているのがあれば教えて欲しいんですが。
1:38:51	多分審査会合なので、ヒアリングで十分ヒアリングで順次という意味です。はい。
1:38:59	要は審査会合は 12 月上旬、1 月下旬、
1:39:19	移動電力のサトウです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:22	順序的にはですね、まず11月6にまとめ資料を提出させ、
1:39:29	失礼しました。訂正します。10月。
1:39:33	10日。
1:39:39	ちゃんと識別して、
1:39:43	資料提出を今おっしゃる。
1:39:56	このぐらい。
1:40:06	北海道電力佐藤です。10月の中旬にですね、まとめ資料でさせていただこうと考えてます。
1:40:12	いや、ヒアリング。
1:40:14	ヒアリング用の資料としてですね。
1:40:16	ですのでそこでまず一通りの、できるところからコメント回答という形で、
1:40:22	方針ですとか、織り込めた話ですとか、させていただこうと考えてます。
1:40:28	その後、
1:40:31	のヒアリングでも、説明できるところからご説明させていただきたいと考えてます。
1:40:37	ありましたまとめ資料の中に、今言ったいろいろ、前回行ってる。
1:40:43	懸念事項とか課題の回答が順次出てくる。
1:40:47	という考え方でよろしくて、それはヒアリングで、事実関係を説明してもらえると。
1:40:54	いうことでよろしいでしょうか。
1:40:56	北海道電力の佐藤です。はい、おっしゃる通りです。
1:40:59	はい、了解しました。
1:41:04	はい。それではWebで3課の方で資料全体通じて確認等ごきますでしょうか。
1:41:15	はい。
1:41:16	北海道電力の方から、今回の件について何か確認したいことがございますか。
1:41:35	場所。
1:41:38	はい。北海道電力ですけども、特にございません。
1:41:42	はい。規制庁藤原ですとそした土地の中に
1:42:16	はい規制庁藤原ですちょっとヒアリングの方は、概ね以上なんですけどちょっと今回のコメントの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:23	ごめんなさいヒアリング内容でちょっと幾らか確認事項があったと思うので、それについて今からまとめます少々今から時間を、
1:42:32	取っております一時中断S I M M E Rす。
1:42:37	はい。規制庁藤原です。今コメントの確認アベ最高で、今回のヒアリング資料に対する確認事項について、今我々の方で、
1:42:48	確認をしましたところ、一応跨い反応、今日のヒアリングを踏まえると記載の適正化というのが多かったかと思いますが、1点だけ。
1:42:59	高強度部の評価の位置付けについては、これ解析モデルの考え方等含めてですね、今後はきちんとまとめ資料にて説明するようお願いします。はい。この点、
1:43:09	双方で認識はよろしいですか。
1:43:14	はい。北海道電力の高橋です。今ご指摘いただいた通り共通認識で、今後、まとめ資料の方で整理していきたいと思います。はい。規制庁藤原です。わかりました。じゃあ、今日のヒアリングについては以上としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。